

マーケットの動き (2020年5月18日～5月22日)

為替市場は、米ドルは対円で上昇（円安）しました。

米ドル円相場は、前週からのリスクオン傾向にワクチン開発進展期待などが好感され、大幅に円安が進んだものの、週後半には新規失業保険申請件数などの指標が市場予想よりも悪かったことを受け反落しました。

ユーロは、欧州復興基金やECB（欧州中央銀行）議事録の内容などが支援材料となり、対円で上昇しました。

投資環境見通し (2020年5月)

米ドル、ユーロは新型コロナウイルス感染者の増加ペースが注目される

米ドル・ユーロ：新型コロナウイルス感染拡大の過程において、FRB（米連邦準備制度理事会）は事実上のゼロ金利政策を導入した一方、ECB（欧州中央銀行）と日銀はともにマイナス金利政策の深掘りを回避しています。米ドル、ユーロ、円とも短期金利の低下余地が限られる中、当面は各国・地域間の新型コロナウイルス感染者数の増加ペースの差異や、社会・経済活動の再開に向けた動きが注目されるとみています。新型コロナウイルスを巡る材料次第で、円に対して変動率が高まりやすい状況が続くとみています。

	5月22日	変動幅 (円)			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	107.48	0.17	▲0.33	▲1.18	▲2.85
ユーロ/円	117.05	0.96	0.33	▲2.84	▲6.01

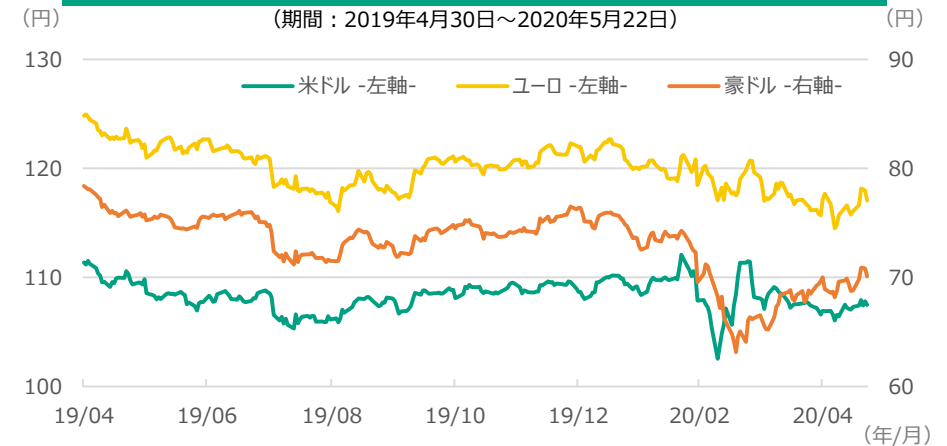
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

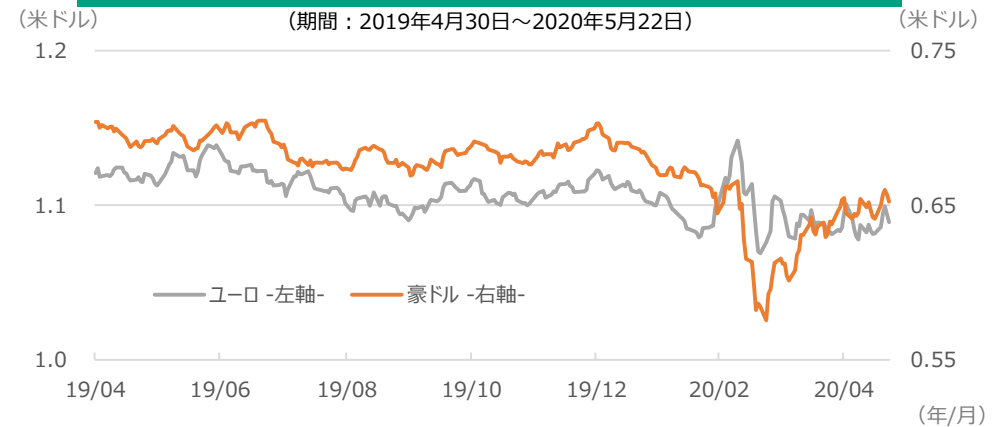
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202005_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

為替レートの推移 (対日本円)



為替レートの推移 (対米ドル)



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成